

施政方針

2月20日に開会の令和5年第1回
ふじみ野市議会定例会で、市長が表明し
た施政方針を通して、新年度の政策方針
の概要をお知らせします。



ふじみ野市の 未来に向けて

ふじみ野市のまちづくりの方向性を示す計画として「ふじみ野市将来構想 from 2018 to 2030」を平成30年3月に策定しました。

この計画は「基本構想」「基本計画」「実施計画」の3層と なっていますが、2層目の基本計画は平成30年度、令和5年度を前期計画として策定している

ことから、令和5年度は前期計画の最終年度となり、後期計画に引き継ぐ大切な年度であります。

そのような節目の年ではあります。新型コロナウイルスとの闘いは、残念ながら4年目に入り、見えない敵と今後も闘っていかねばなりません。これまでも「コロナに打ち勝ち市民とともに希望へ」との思いと「ふじみ野市の未来に向けて、最も重要な課題は、誰もが願っ

ている以前のような日常を取り戻すこと。今後の取り組み方によってこのまちの将来が決まる正念場」という決意の下、市政運営に当たってきたところでございます。そして今後も、感染対策と社会経済活動の両立に向けて全力で取り組み、子どもからシルバー世代まで誰もが健康やかに暮らし続けることのできる市政運営に努めてまいりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

ふじみ野市長
高畑 博



絆を強く結ぶ

さて、私が市長就任以来、政治信念として毎年欠かさずに行ってきたタウンミーティングですが、これまでの2年間は感染症対策のため、各自自治組織の会長さんとの意見交換の形で行ってまいりましたが、昨年の9月からは約3年ぶりに直接市民の皆さんと膝を突き合わせて行う本来の形で再開しました。

ある地域のタウンミーティングで「国・県・市があり、最も身近な組織として自治組織があるが、その自治組織が崩壊の危機に瀕している」との発言がありました。以前であれば地域の皆さんが協力しながら行ってきた行事が新型コロナウイルス感染症の影響で開催できなかったことで、地域のつながりが少し薄れてしまったことを現実のものとして捉えざるを得ないと痛切に感じました。

しかしながら、人と人とのつながり、そして地域のつながりは、絶対に必要であると確信しております。

日頃の防犯活動や登下校時の子どもたちの見守り活動など、

平時はもとより、災害時に各地域での共助は絶対に必要です。大規模災害はいつ起こるか分かりません。今この瞬間に起こるかもしれません。

令和5年度は、何としても人と人とのつながり、地域の絆を強く結び直す足がかりの年にしていきたいと考えております。

家族のような あったかいまち

私たちを取り巻く環境は、社会構造などが著しく変化しております。社会経済的損失もそうですが、更に深刻な問題として、出生数の低下の問題があります。新型コロナウイルス感染症の長期化の影響で将来への不安から「産み控え」が起きていると指摘されているようであります。厚生労働大臣からも「令和4年の出生数については、77万人前後になるのではないか」との発言がありました。統計開始以来、初めて80万人を割り込むこととなります。速報値から推測すれば、令和3年の合計特殊出生率より更に低下することが見込まれます。令和3年の合計特殊出生率も前年対比では、

0.03ポイント下がっています。数字の上では僅かに見えますが、実はこの差が、これから先、またその先へと大きな数字として表れてくるものと考えております。

これから生まれてくる子どもたちが大人になった時、生活の利便性は今より更に向上していると思えますが、減少する生産年齢人口で社会を支えていかなければなりません。単純に高齢者を支えていくということだけではなく、この国全体を支えていかなければならないのです。そのためにも、先に記載したとおり、人と人とのつながりが必ず必要になると考えております。

いつの時代も、どのような状況下にあっても、人の温かさや思いやり、こうした目には見えない心のつながりが大切です。

だからこそ、このまちで暮らす全ての市民が一つの家族のようなあったかいまちにしたい。そして何より大切なことは、子どもたちの笑顔を増やすこと。

この思いを胸に、市民の命と暮らしを守ることを第一に、引き続き全身全霊で取り組んでいく所存です。

人と人とのつながり、そして地域のつながり

● 犯罪被害者等見舞金の支給
 犯罪被害者が受けた被害による経済的負担を軽減するため、見舞金を支給します。

● 人権問題に対する教育・啓発活動の推進
 同和問題をはじめ、あらゆる人権問題解決のため、研修会や部落差別解消推進に関する法律などの周知、啓発事業などを行います。

● 書かない窓口システムの導入
 来庁者の申請手続きを支援するため、職員の聞き取りにより申請書を作成するシステムを年内に大井総合支所に導入します。多岐にわたるライフイベントの手続きを自動判定し、正確で漏れない案内を行います。

● 総合的な相談窓口の設置
 複雑化・多様化する相談に対応するため、法的な手続きや家庭内のトラブル、日常生活のさまざまな悩みごとなどの各種専門相談を実施し、関係部署と連携した支援を行います。

市民生活部

● 後期高齢者の健康増進
 後期高齢者医療被保険者の健康増進・維持を推進するため、健康診査および人間ドックを実施し、病気の早期発見および生活習慣の見直しを促進します。また、保養施設の宿泊料金を補助をします。

● 自治組織の活動支援
 地域コミュニティ活動の活性化や地域社会の福祉の向上と市民主体の自治を推進するため、自治組織を支援します。

市民活動推進部

● 市民交流プラザなどの空調更新
 老朽化している市民交流プラザなどの空調設備について更新工事を行います。

● おおい祭りの開催
 祭りを通じて生まれる交流をまちの活性化につなげるため、おおい祭りの費用を補助します。なお、本年度は再開記念事業の補助を拡充します。

総合政策部

● 将来構想 from 2018 to 2030の後期基本計画の策定
 市政運営の方針となる将来構想の前期基本計画が令和5年度で終了するため、令和6～12年度を期間とする後期基本計画を策定します。

● ふじみ野市史の編さん
 市の歴史を再確認し、歴史、文化および市政に対する市民の理解を深め、シビックプライドの醸成を図るため、ふじみ野市史の編さんを行います。

● タウンミーティングの実施
 市民の声を聴き、政策に反映させるほか、市民の皆さんへ情報発信の場として「タウンミーティング」を実施します。

● 電子申請システムの更新
 行政手続における利便性の向上を図るため、より使いやすい電子申請システムへの更新を行います。

● 公共施設予約システムの更新
 スマートフォンやタブレットに対

総務部

応した公共施設予約システムに更新します。

● 地域防災力の向上に向けた支援
 災害に対する予防、応急および復旧復興対策の充実を図るため、地域防災の要となる自主防災組織の活動に要する費用に対し補助を行うとともに、防災講話を実施します。

● 総合防災訓練の実施
 地域における自主訓練や市内全20カ所の避難所開設を通じて、市民一人一人が災害を考える機会をつくり、防災力の強化を図るため、市、市民および防災関係機関と連携した総合防災訓練を実施します。

● 振り込め詐欺被害防止対策
 振り込め詐欺被害を防止するため、被害防止啓発品の配布や対策機器の購入費の補助を行います。

● 文化施設の整備
 市民の文化活動、生涯学習活動などの拠点となるふじみ野ステラ・ウエスト、ふじみ野ステラ・イーストホール棟を整備します。

● 文化芸術活動未来応援事業
 アーティストなどの活動の活性化を図り質の高い文化芸術に触れる機会を市民に提供するため、自主的かつ創造的な企画提案型事業の費用を補助します。

● 文化芸術アウトリーチ派遣事業の実施
 子どもや高齢者、障がいのある人などの文化芸術に触れる機会を充実させ、豊かな心と情操の育成を図るため、市内芸術家を小学校、福祉施設などへ派遣し、体験できるプログラムを実施します。

● フリーエネルギーの普及促進
 「ふじみ野市ゼロカーボンシティ宣言」による2050年カーボンニュートラルの実現に向け、住宅用スマートエネルギーシステムの設置および電気自動車などの購入費用に対し、補助を行います。

● 高齢者などのごみ出し支援
 身近にごみ出しの協力が得られない65歳以上のひとり暮らしまたは世帯員も高齢や障がいなどでごみ出しが困難な人のごみ出し支援（ふれあい収集）を行います。本年度から月額800円の利用料を無償化します。

● 上福岡七夕まつりの開催
 多くの市民の参加を図り、観光客を誘致し、地元産業と観光の振興に寄与するため、上福岡七夕まつりの費用を補助をします。本年度は再開記念事業の補助を拡充します。

● 農業入門塾の運営
 地域コミュニティの活性化、農業に対する意識の高揚および新規就農などのきっかけ作りのため、農業入門塾（栽培指導付き市民農園）を運営します。



●生活困窮者などの支援

誰もが安心して自立した生活を送れるようにするため、生活困窮者や複合的な課題を抱えている市民を関係機関と連携して支援します。「ふくし総合相談センターにじいろ」を大井総合支所に移転し、西側地域の拠点として円滑な支援につなげます。

●障がい者の緊急時対応などの居室確保

障がい者が地域で安心して暮らすことができる支援体制を整備するため、障がい者の緊急一時的な宿泊や地域での一人暮らしに向けた体験的宿泊のための居室を確保します。

●障がい者総合相談支援センターの相談支援

障がい者やその家族の身近な相談窓口として、生活相談と就労相談を一体的に実施します。複雑な課題を抱える人への支援として、多機関連携などにより地域の相談支援体制を強化し、親亡き後も安心して生活を送ることができるよう

地域生活支援拠点等事業を構築します。

●訪問系介護事業所のハラスメント対策支援

訪問系介護事業所に対するサービス利用者などからのハラスメントを防止するため、複数名で訪問した際にかかる費用を事業所に対し補助します。また、本年度から市および関係機関で街頭啓発キャンペーンを実施します。

●地域包括支援センターの運営

高齢化の進展や後期高齢者の急速な増加、重層的支援などに対応するため、地域包括支援センター（高齢者あんしん相談センター）の職員体制を強化します。本年度は「ふくおか」と「かすみがおか」に専門職の加配を行います。

●成年後見センター事業

認知症、知的障がいその他の精神上の障がいにより財産管理などの日常生活に支障がある人が、成年後見制度などを的確に利用できるよう支援を行います。成年後見センターの体制を強化します。



都市政策部

●伴走型相談支援と出産・子育て応援給付金の一体的事業

全ての妊婦・子育て世帯が安心して出産・子育てできるように、妊娠から出産・子育て期まで一貫して相談に対応します。また、さまざまなニーズに即した支援になく伴走型相談支援の充実を図り、妊婦・子育て世帯などを経済的に支援するため、出産・子育て応援給付金の支給について一体的に実施します。

●各種がん検診の実施

がんの早期発見と早期治療を推進し、がんによる死亡率の減少を図るため、各種がん検診を実施します。



●元気・健康マイレージ および食育推進の実施

市民の健康づくりを推進するため、元気・健康マイレージの実施や食育の推進を図ります。

元気健康部

●児童発育・発達支援センターの運営

発育発達に不安のある児童とその保護者が身近な地域で専門的な相談や療育支援を受けることができる、児童発育・発達支援センターの運営を行います。市全体における支援が必要な児童を把握し、切れ目無く支援できるように本年度より巡回相談支援事業を拡充します。

●放課後児童クラブの運営

労働などにより保護者が昼間家庭にいない就学児童の健全な育成を図るため、授業の終了後などに適切な遊びと生活の場を提供します。また、夏休み期間中に提供する給食は円安、原油価格高騰などの影響による食料費の上昇分を保護者に求めることなく、昨年度と同額で提供します。

●子育て支援センターの運営

子育て親子の交流の場の提供、子育て講座の開催、子育てサークルの育成支援、子育てに関する情

報を提供し、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を行います。また、保健センターと連携し、母子保健や育児に関するさまざまな悩みなどに保健師、保育士などが専門的な見地から相談支援などを実施します。

●市立保育所の運営

労働や疾病などの理由により家庭内で児童の保育ができない保護者が安心して子育てするため、市立保育所を運営します。給食は円安、原油価格高騰などの影響による食料費の上昇分を保護者に求めることなく昨年度と同額で提供します。



●幼児教育・保育施設運営支援事業

子育てを行う家庭の経済的負担の軽減ならびに保育環境の改善と充実を図るため、幼児期の教育・保育などを行う幼稚園などの利用に対し給付を行います。また、民間保育所などの健全な運営と入所児童への質の高い保育の提供を支援するため、運営や各種事業の費用に対し補助を行います。

●地域協働学校・地域学校協働活動の推進

学校を核とした地域づくりの拠点となる地域協働学校を推進するため、学校運営協議会と地域の教育力を活用した取組を充実します。地域全体で児童生徒の学びや成長を支え、地域住民も共に学び、そこで生まれるつながりを土台にして、地域学校協働活動を進めます。

●教員業務支援員の配置による学校教育支援

教員が授業や生徒指導に集中できる環境を整えるため、資料印刷、授業準備の補助などを行う「教員業務支援員」を各校に配置します。

●小・中学校の児童生徒への給食の提供

市内の小・中学校に通学する児童生徒に対し給食を提供します。なお、卵・乳に対してアレルギーのある児童には、卵・乳除去食を提供します。円安、原油価格高騰などの影響による食料費の上昇分を保護者に求めることなく、昨年度と同額の給食費で提供します。

●市内循環ワゴンの運行

持続可能な公共交通ネットワークの維持・存続のため、民間路線バスと相互に補完する定時定路線型乗合ワゴンを運行します。本年度からは、改善された既存の4コースに市役所本庁舎と大井総合支所を結ぶ新たなコースを加えた5コースで運行を実施します。

●市内公園の維持管理および更新整備

安全で安心な市民の憩いの場として集える公園などを提供するため、公園などの維持管理を行います。また、老朽化した公園などの再整備を行います。

●空家などの発生の予防、適切な管理および活用の促進

空家などの発生予防や適正管理、活用促進を図るため、市の空家などに関する対策を総合的・計画的に実施します。

●道路の舗装補修

安全で安心して道路を通行することができるよう、破損や老朽化

教育部

●川崎調整池関連事業

元福岡地区などの浸水被害を軽減するため、川崎市との共同による内水対策を進め、川崎地内に調整池およびポンプ場の整備を行います。

●学校施設の大規模改造・防球ネットの増設

老朽化した校舎を改修するため、計画的に大規模改造工事を行います。本年度は、鶴ヶ丘小学校の工事（2年目）、大井東中学校の工事（1年目）、福岡中学校の設計を行います。また、大井西中学校の防球ネットの増設工事の設計を行います。

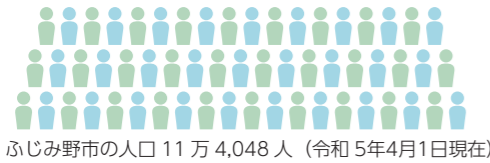
●水泳学習のための民間施設利用

児童生徒の安全安心な水泳学習の機会の確保を図るため、小学校7校と中学校2校を対象に、天候

ふじみ野市の新年度予算が決定しました

歳出

一般会計歳出 ふじみ野市全体
478億7,579万円



一般会計歳出 市民一人当たり
約42万1千円



消防費 市民一人当たり
約1.3万円
(予算額約14億円)

- 入間東部地区事務組合への負担金
- 災害時の支援体制の充実

その他 市民一人当たり
約0.6万円
(予算額約6億円)

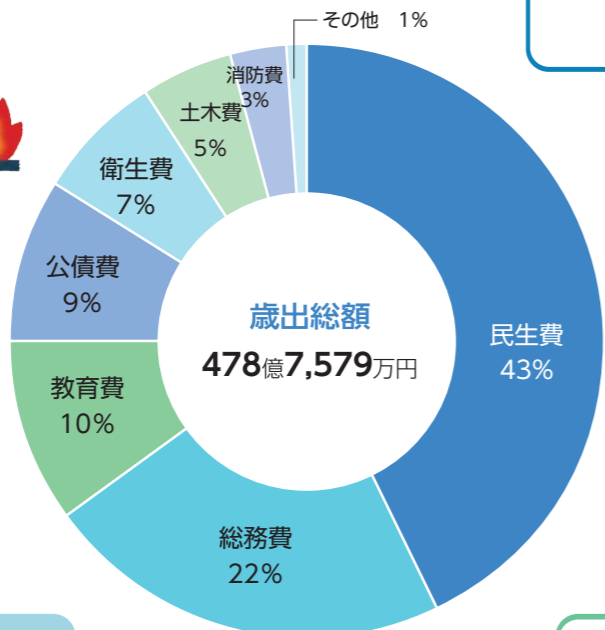
- 議会の運営
- 農業、商工業の振興

民生費 市民一人当たり
約18万円
(予算額約205億円)

- 幼児教育・保育施設の運営支援
- 生活に困窮する人への支援
- 障がいがある人への支援

土木費 市民一人当たり
約1.9万円
(予算額約22億円)

- 市内公園の更新整備と維持管理
- 下水道企業会計への負担金
- 道路の舗装補修



総務費 市民一人当たり
約9.4万円
(予算額約108億円)

- 文化施設の整備
- 公有財産の管理
- 市民交流プラザの空調更新

衛生費 市民一人当たり
約3万円
(予算額約33億円)

- ごみなどの処理やリサイクル
- 妊婦健診や出産・子育て応援給付金の支給
- 予防接種の実施

公債費 市民一人当たり
約3.9万円
(予算額約45億円)

- 市債(借金)の返済

教育費 市民一人当たり
約4万円
(予算額約46億円)

- 学校施設の大規模改造工事
- 学校の運営や維持管理
- 給食の提供

歳入

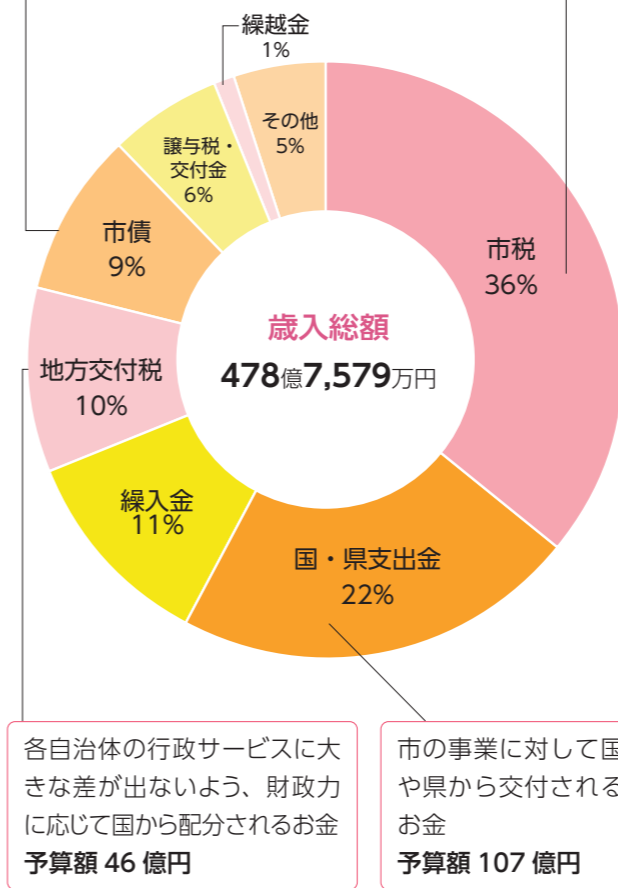
皆さんが納めているこれらのお金が市の収入です。

- 一般会計**
- 市税
 - 学校給食費
 - 公共施設などの使用料
 - 証明書発行手数料
 - 寄附

- 特別会計**
- 国民健康保険税
 - 後期高齢者医療保険料
 - 介護保険料
- など
- 企業会計**
- 水道料金
 - 下水道使用料
- など

公共施設や道路などを作るときに、国や金融機関などから借り入れるお金
予算額 41億円

皆さんに納めていただく税金
予算額 174億
市民一人当たり約15.2万円



各自治体の行政サービスに大きな差が出ないように、財政力に応じて国から配分されるお金
予算額 46億円

市の事業に対して国や県から交付されるお金
予算額 107億円

市の会計は、一般会計、特別会計、企業会計の3つに分かれています。

一般会計は、市民生活全般にわたる仕事を行うために必要な経費や、そのための収入を管理する会計で、市の会計の基本です。本年度の一般会計の当初予算額は478億7,578万8千円で、前年度と比較して48億1,720万1千円(11.2%)の増額となりました。

特別会計と企業会計は、特定の事業を特定の収入によって行うため、独立した会計を設けて管理を行います。

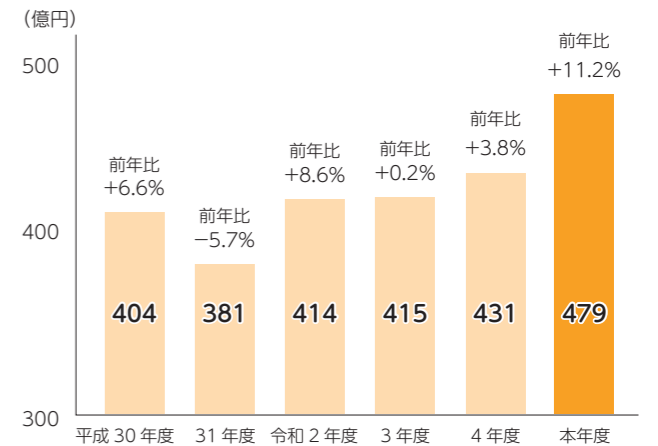
※市ホームページに各会計の資料を掲載しています。
図 財政課 (TEL 049・262・9004)



■ 新年度の当初予算総額

会計	当初予算額 (前年度比)
一般会計	478億7,578万8千円 (+11.2%)
特別会計	208億147万7千円 (+6.3%)
国民健康保険	100億3,865万4千円 (+5.2%)
介護保険	90億7,574万5千円 (+7.3%)
後期高齢者医療事業	16億8,707万8千円 (+8.3%)
企業会計	49億3,812万円9千円(+15.6%)
水道事業	22億3,238万3千円 (+6.6%)
下水道事業	27億574万6千円 (+24.2%)
予算総額	736億1,539万4千円(+10.1%)

■ 一般会計予算額の推移 (当初比較)



※令和4年度と比較し、文化施設整備工事や障がい福祉サービス費などの影響により増額しています。